



「まとめの3学期」をイメージする

生徒のみなさんへ

● 今、何に挑戦すべきか具体的にイメージしよう ●

明けましておめでとうございます。いよいよ新しい年、2023年が始まりました。3学期は1年の「まとめ」となる学期です。私はよく皆さんに「キャッチする力、イメージする力」が大切であるという事を伝えてきましたので、3学期のスタートにあたり、皆さん一人一人にとっての「まとめの3学期」をイメージしてもらいたいと思います。

ここでいうイメージとは、「今年の4月から自分が考えたことや行動してきたことを振り返り、次の学年をより良い学年にするために、今から3か月間で修正すべきことをイメージする」ということです。つまり、進級するにあたって、コロナのさまざまな制限のある中でも、自分がどれだけ「やるべきこと」や「やれること」に挑戦してきたのか振り返る必要があります。

1年生は、初めての中学校生活でどれだけのこと挑戦できたのか振り返ってみてください。3か月後は後輩が入学してきます。理想の先輩像をイメージして、これまで頑張ってきたことを続けたり、新たなことに挑戦したりしましょう。

2年生は、中学校の1年目、2年目とで、コロナの影響から全く違う流れの中でも様々なことに挑戦し、困難を乗り越えてきました。これからはリーダー学年として、コロナの影響と戦いながら、自分はどのようなことに挑戦すべきかイメージしてください。

3年生は、理想とする進路を実現するため、自分が今、何に挑戦すべきか十分に分かっていることと思いますので、あとは様々な誘惑に負けず、そのことをいかに実行するかにかかっています。また、受験は団体戦です。互いに励まし合い、応援し合っ乗り越えていきましょう。1・2年生の皆さんも1年後、2年後の自分の姿をイメージしながら、3年生が中学校生活の集大成として残された期間をどのように過ごしていくか、先輩たちの姿をよく見ておいてください。

3学期のスタートにあたり、「今、自分が何に挑戦すべきか具体的にイメージすることが大切である」ということを言いました。プレッシャーを感じる人、「わかっているけど、挑戦するって難しいからなあ」と感じている人も多いと思います。私もそう思います。

● 挑戦を続けると「才能」になる ●

何かに挑戦したら、必ず報われるのであれば、誰でも挑戦するでしょう。むしろ、すぐに報われないことの方が多いから、なかなかやろうとしなかったり、続かなかったりするのかもしれませんが。ですので、報われないかも知れないところで、情熱、気力、モチベーションをもって継続して挑戦することは、とても大変なことです。ですから、それをやるのが「才能」であると思っています。

よく、才能は、もって生まれるものと言われることがあります。だから、「自分には才能がないから無理」と思ってしまいがちです。辞書を調べると才能とは、「才知と能力。ある個人の一定の素質、または訓練によって得られた能力」と書かれています。つまり、こつこつと粘り強く努力を続けて得られる能力ということですから、才能とは、「挑戦する努力、そしてその継続で得られる力」であると言えます。何に挑戦するかはあなた次第です。まずは、できる人の行動を真似してみることもよいでしょう。また一方で、他の人の成功体験をあてにせず、試行錯誤の中で自分に合う方法を探すなど、実行に移してみましよう。小さなことでも、何かが出来るようになる自分をイメージす

ると、きっと生活の中にわくわくすることが増えていきます。皆と一緒に、「挑戦し続ける人が集まる熊西中学校」を作っていきましょう。そんな学校をイメージして、私も挑戦を続けたいと思います。

● 生徒会役員交代式 ●

2学期の終わり、生徒会交代式がライブ配信にて行われました。旧生徒会執行部の皆さんは、この一年間、熊西中をより良くするために、様々な行事の企画運営に本当によく頑張りました。部活動との両立で大変な思いをした人もいることでしょう。さらに、今年はコロナ対応で自分たちのやりたかったことが十分にできずに、苦しんだことだと思います。しかし、大変な思いをして、出来ることを探し、頑張ったことに自信をもってください。乗り越えてきた経験は、あなた方の成長となったはずです。本当にお疲れ様でした。

新生徒会執行部の皆さん、これまで先輩方が築き上げたものを受け継ぎ、さらなる発展を目指して、しっかり取り組んでほしいと思います。しかし、コロナの影響は予測できない状況があります。この、予測不可能な状況だからこそ、君たちの工夫する力が生かされます。是非、今、何をすべきか、そして、何なら出来るのかということ、この熊西中のリーダーとして考えていかなければなりません。君たちの工夫する力、発想力、創造力に期待します。

そして、全校生徒の皆さん、生徒会は、あなたたち一人一人がつくるものだというのを忘れてはいけません。「今まで通り」という言葉がなくなった今、新生徒会執行部の皆さんと共に、今、熊西中に必要なことは何かということ、行動してほしいと思います。そして、この熊西中を、誰もが安心してチャレンジできる、誰もが応援してもらえる、誰もが励ましてもらえる、そんな居心地の良い場所にして欲しいと願っています。皆さんの挑戦する姿、励まし合う姿、応援し合う姿を楽しみにしています。



写真左：旧役員一人一人から全校生徒へメッセージが語られました。中央：「生徒会の温かく優しい環境は、執行部の先輩方がこの生徒会活動を誇りに思い、困っている人がいたら率先して協力するという意思が強いものだったからだと思います。この意志を引き継ぎ、新しい執行部皆でこの熊西中学校をさらに活気のある学校にしていこうと思います。」このように力強く所信を表明する〇〇新生徒会長と新役員。写真右：旧役員から新役員へ生徒会資料が渡され、引き継ぎがなされました。

● 地域の想い ●

立派な門松が生徒昇降口前に飾られました。皆さんを少しでも元気づけたいと、熊西校区まちづくり協議会の増田会長はじめ、地域の方々のご協力がありました。雨の早朝より、急斜面の山から竹を切り出すなど、大変な重労働です。今はコロナの影響から地域行事への参加ができなかったり、学校へ地域の方を招くことができなくなったりと寂しい状況ですが、地域の方々との絆が大切であることを強く感じました。3年前までは、本校の部活動が地域のお祭りや餅つき、敬老会に参加していました。地域の方々は、皆さんとふれ合える日を待ち望んでいます。皆さんの元気を地域で発揮できる日が早く来るよう願うばかりです。是非、その時は皆さんも積極的に地域行事に参加して、自分も社会の中で役に立っているという実感を味わってください。そして、誰かが見えないところで皆さんのことを想い続けているということも忘れないでください。



雨の降る中、急斜面の山からたくさんの竹を切って運び出し、洗い、一本一本のこぎりできれいに加工し、縄でしばり、土や石を入れ、飾り付ける…とても大変な共同作業の末、やっと出来上がります。教頭先生も大奮闘です。翌日は大変な筋肉痛になりました。

